

5/15
~16 Hirado City Photo News
平戸の地酒を求めて



森酒造場で蔵開きが行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して実施。両日も、あいにくの雨となりましたが、平戸の地酒を求め人たちにぎわいました。

この日は、蔵開き限定酒の販売や酒蔵見学のほか、酒蔵内でのバラの写真展も開催。酒造見学では、日本酒ができるまでの工程やこだわりについて詳しい説明が行われ、参加した人からは「森酒造場の酒造りについて知ることができて勉強になった」との感想が聞かれました。

5/5 Hirado City Photo News
リニューアル後1万人を突破



4月1日にリニューアルオープンした平戸城が、早くも来場者1万人を突破しました。1万人目の来場者となったのは、市外から観光で訪れていた家族連れで、平戸城の指定管理者である平戸城JVの鞍掛齊也さんから焼きあごやカストースなど平戸の特産品の詰め合わせが贈呈されました。

記念すべき1万人目となったきょうだけは「1万人目と聞いてびっくりした。お城が好きなので、新しくなった平戸城でお城や平戸の歴史を勉強したい」と話していました。

4/28 Hirado City Photo News
新しい平戸の特産品をお披露目



令和2年までに市の補助事業により開発された、平戸市の特産品を使用した新商品発表会が、平戸市役所にて行われました。

会場には市内の6事業者から、報道各社や市長に対し、平戸特産の農林水産物を缶詰やレトルト食品など、これまでにない形で商品化した14種類の商品が紹介されました。

市長は、「このような商品ができればいいと思っていた商品が実現し嬉しい」と話し、さらなる商品開発への期待を示しました。

5/16 Hirado City Photo News
三浦按針の偉業に思いをはせて



5月16日、徳川幕府の外交顧問を務めた三浦按針(ウィリアム・アダムス)の没後400周年事業の一環として整備されたANJINローズガーデン(崎方公園)において、ANJINバラ展が開催されました。

当日はあいにくの空模様でしたが、予定どおり開催され、按針にちなみ名づけられた新品種のバラ「ウィリアムアダムス」の紹介やバラ苗の販売が行われました。平戸バラ会の油屋靖生会長は、「按針記念式典は中止となりましたが、バラ園を通して按針の偉業に思いをはせてほしい」と話していました。

5/4
~5 Hirado City Photo News
美しい庭園を解説付きで巡る



平戸松浦家35代熙(観中)が江戸時代後期に作庭した棲霞園・梅ヶ谷津愷楽園が一般公開されました。4日には、長年、棲霞園の研究をしている南九州大学の永松義博名誉教授の講演会も行われました。

訪れた人たちは、同大学庭園デザイン学研究室卒業生による解説を聞きながら庭園を散策。解説をした藤吉拓也さんは、「毎年一般公開をしているが初めて来たという人も多い。地元の人にもっとこの庭園の魅力を伝えていきたい」と話していました。次回は、11月の公開を予定しています。

4/23 Hirado City Photo News
道の駅を美しく



毎年4月22日の「道の駅の日」、4月22日から28日までの「道の駅週間」に併せ、道の駅昆虫の里たひらで避難訓練や消火訓練、周辺清掃活動が行われました。

周辺清掃活動には、道の駅を管理するふれあい友市運営協議会(中村憲吾会長、会員28人)のメンバーを中心に、長崎河川国道事務所の職員が「道守(みちもり)」として参加。道守とは、道路の美化活動を行うボランティア団体の名称です。今後、毎年道の駅週間には周辺清掃活動を行う予定です。